大三島小学校 週刊校長だより	あしあと	第14号 令和5年7月10日

＜「日本一楽しい学校」を目指しましょう。＞

もう少しで1学期が終わります。夏休みは 42日間あります。始まるまでに、「夏休みの過ごし方」のプリントを使って、がんばってみたいことや、気を付けたいことなどを、おうちの人といっしょに考えて決めておきましょう。安全で、有意義な夏休みになることを願っています。

2年生が、野菜畑で収穫したトウモロコシを見せに来てくれました。立派に育っています。他にも、トマトやキュウリなどの夏野菜も、次々と収穫できていて、とてもおいしかったそうです。きっと、大切にお世話をしてきたからでしょう

4年生で理科の研究授業がありました。生き物を観察し、気付いたことや調べたことを発表し合った後、気温の変化と、生き物の様子の関わりを考察しました。タブレットの活用力や、生き物の観察力もなかなかのものです。

租税教室が行われ、6年生が税について学習しました。税務署と青色申告会の方が来校してくださり、もし税がなかったらどうなるか、税にはどんなものがあるか、私たちの生活に、どのように役立っているかなどについて、教えてくださいました。

皆さんは「興味があったから始めたと言うよりも、誰かに誘われたとか、何となくやってみたら面白かった。」といったことはありませんか。サッカーやダンスなどのスポーツ、ピアノや習字などの習い事、〇〇の研究や作品づくりなど、やってみたら興味が湧いてきて、次もがんばろうという気持ちになることは、意外と多いのです。夏休みには、興味のあるものを、とことん掘り下げるのもいいでしょうし、まだ、そこまで興味のあるものがない人は、いろいろなことにチャレンジしてみるといいと思います。